

ダイナミック・ペダゴジー・ワークショップ参加者募集

この度、スウェーデンから二人のアーティストを迎え、ワークショップを行います。一人は音楽、ドラマなどのパフォーマンスアート、もう一人は彫刻をベースとした造形の専門家です。二人は教育実践にも関わりが深く、それぞれの芸術的素養をさまざまな教育実践に生かしてきました。今回のワークショップでは、参加者にまずダイナミック・ペダゴジーに基づく教育実践がどのようなものか実際に体験してもらい、その後、その活動について解説、質疑応答する構造になっています。ダイナミック・ペダゴジーについて日本で紹介されるのはおそらく初めてであり、異なる芸術領域を専門とする二人の専門家による、実践を交えたワークショップは稀有な体験となることでしょう。ダイナミック・ペダゴジーについては後述する資料をご覧ください。なお、ワークショップの性格上、20名以下に人数制限をします。そのため、参加申し込みをされてもお断りすることがありますことをご承知下さい。また、一つの組織、園などから複数の方が参加希望された場合には、人数を絞るようお願いすることもあります。ワークショップ体験の内容構成上、急にキャンセルされると予定通りできなくなりますので原則キャンセルはご容赦下さい。また、今回のワークショップの開催費用には科研費を使用していますので、当日の活動について記録が取られ、プライバシーに配慮した上で、後日分析されることがあります。以上のことをご理解の上、ご応募いただけますようお願い申し上げます。なお、これとは別に各大学や組織、学校、園などで両氏のワークショップを開催する希望のある方は個別に相談を受けますので、お知らせ下さい。

記

ファシリテーター：



・Anna Erlandson：芸術学修士、彫刻家、アートと建築、エコロジー、ダイナミック・ペダゴジーなどについて学ぶ。移民のためのアート活動のファシリテーター、初来日。



・Lena Lindell：音楽学修士、女優、歌手、ボーカルコーチ、移民のためのスウェーデン語とダイナミック・ペダゴジー講師、移民のためのアート活動のファシリテーター、ストックホルム大学におけるダイナミック・ペダゴジーの元講師、これまで複数回来日し、就学前施設などで、子どもや大人に対するワークショップを実施している。

ワークショップ・マネージメント：石黒広昭（立教大学）

開催日時：2024年10月12日（土） 10:30 - 15:00

*時間は多少前後することがあります。ゆとりをもってご参加ください。

*午前の体験と午後の討議両方にご参加ください。部分参加はお断りします。

場所：立教大学池袋キャンパス

*参加が決まった方に後日詳細をお知らせします。

費用：無料

使用言語：英語、日本語、身体表現や造形物などの100の言葉

申込先：<https://forms.gle/GnrkCD2pnfF1JdR8>

問合せ：<https://forms.gle/DGooGgZxMubaSP1T6>

申込期限：2024年8月19日（月）

*一次募集で空席がある場合には追加募集することがあります。

主催：立教大学文学部 石黒研究室

助成：基盤研究 B (23K22288)

資料：ダイナミック・ペダゴジーとは何か。

ダイナミック・ペダゴジーはストックホルム大学教員養成課程で人気のあるコースでしたが、その教育効果が測定できないなどといった理由で現在では実施されていません。現在では非営利で運営されているコルダ・インスティテュート（Korda Institute）で学ぶことができるそうです。それによればダイナミック・ペダゴジーとは以下のようなものです。以下の邦訳はスウェーデン語からの機械翻訳ですので誤りがあるかもしれませんが、だいたいの内容は理解できると思います。疑問点があれば、当日ファシリテーターにご質問下さい。

<https://www.korda.se/dynamisk-pedagogik>

「ダイナミック教育学とは？」

ダイナミック教育学は1960年代に誕生した。当初はストックホルムのコルダ研究所で、近年はストックホルム大学で講座が開かれている。ダイナミック・ペダゴジーの全体的な目標は、人々が自分自身のリソースによりアクセスできるようになり、対人関係においてよりよく機能するようになることである。ダイナミック・ペダゴジーは、自分自身と他者の声に耳を傾けることから始まる知識観に基づいている。これは、参加者に、変化、発展、学習の絶え間なく続くプロセスの中で、判断力と感受性

を持って外の世界や仲間に出会う心構えを与えるためである。ダイナミックな教育法は、思考、感情、行動を統合するホリスティックなアプローチを促進する。

対人的な出会いによって生まれる信頼関係は、学習の重要な側面である。信頼の風土は喜びの体験と密接な関係がある。そのため、ダイナミック教育法の指導者にとっては、グループへの参加と喜びに満ちた活動をサポートすることが不可欠である。ダイナミック教育学は、人々が他者とよりよく協働するためのアプローチである。これは主に、個人の自己認識や自立心を高め、情報収集能力を高め、他者との協力の中で建設的に自己主張する機会を増やすことによって行われる。

和音とは、円の中心を通らずに、つまりリーダーを通らずに、円上の2点を結ぶ線のことである。人々の集団は、しばしば円として表される。ダイナミック教育学では、個人の創造力、他の人々との関係、そして集団で共に生きるために重要な集団のダイナミックなプロセスに働きかける。

ダイナミックという言葉の定義：個人の中にあるさまざまな考えやさまざまな感情の間、また異なる個人の間を生じる緊張の場。」

以上